

成人看護学								
専門分野								
授業科目	健康危機状況における看護	講師	氏名	①富永賀奈子 ②清原いずみ ③井上亜希子 ④長谷川杏子	開講年次	単位・時間		
			所属	①②③病院 専任教員			2年次 前期～後期	1単位 30時間
			実務経験	臨床看護師				
科目のねらい	成人期は多様な価値観・生き方や社会的役割を持つ。重篤な状態にある成人期の身体的・心理的・社会的影響やその家族への影響を理解し、重症化の回避と生命危機からの早期回復のための看護実践を学ぶ。また、手術を必要とする対象とその家族への手術療法の理解や意思決定の援助を支える技術を学ぶ。							
到達目標								
知識・技術	1. 成人期にある対象や家族を対象とした急性期看護の特徴を説明できる。 2. 急性期における援助について科学的根拠をもとに実践できる。 3. 成人期にある対象や家族を対象とした周手術期看護の特徴を説明できる。 4. 術後の合併症の予防についてアセスメントし実践できる。 5. 成人各期の身体の回復過程を説明できる。 6. 対象に応じた観察項目を理解し異常の早期発見について考えることができる。							
思考・判断・表現	1. 急性期の特徴を理解し、学んだ知識・技術をもとに対象に応じた看護計画を立案できる。 2. 立案した看護計画を用いて必要な援助をシミュレーションで実践できる。 3. 実践した援助を振り返り、評価できる。 4. 急性期の治療を終え、今後の生活変容について考えることができる。							
主体的学習態度	1. グループ間で協力的な行動が取れる。 2. 手術が及ぼす身体の機能回復の段階における日常生活の進め方について考えることができる。							
科目評価	①定期試験(筆記) 60% ②課題(レポート含) 40% 合計100%							
テキスト	ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 周術期看護 (メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 成人看護学② 健康危機状況/セルフケアの再獲得 (メディカ出版)							
参考文献								
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他				
1	1. 健康危機状況にある成人の理解 ①健康危機状況にある成人を理解する視点 ②健康危機状況にある成人に生じるセルフケア不足 ③健康危機状況と看護の特徴 ④健康危機状況における看護の苦悩と支え合い 2. 健康危機状況における看護の実際	○			長谷川杏子	基礎看護学 成人看護学概論 病理学総論 臨床薬理学 全ての病を看るからだの構造からだの機能	「成人看護学概論」で習得した「健康観」と関連づけて予習する。予習においては、テキストを熟読し、理解できない箇所を明確にする。テキスト・講義資料を用いて学習した内容を復習し、理解を深める。 事前課題①：危機理論 事前課題②：術後に起こりやすい合併症	
2	2.意識障害の観察(青年期)シミュレーション		○					
3	3.意識障害の観察(向老期)シミュレーション		○					
4	4.青年期の交通外傷で健康危機(外傷)にある対象と家族の看護(急性期～周術期)	○			清原いずみ		事前課題③：狭心症 心筋梗塞の疾患学習 事前課題④：紙上事例(骨盤骨折・虚血性心疾患)のロイを活用した看護展開・看護介入計画	
5	5.青年期の交通外傷で健康危機(外傷)にある対象と家族の看護実践 ①輸血時の看護の実際 ②MRI検査時の看護		○		長谷川杏子			
6	6.壮年期に発症した虚血性心疾患の対象と家族の看護(急性期～周術期)	○			富永賀奈子			
7	6.壮年期に発症した虚血性心疾患の対象と家族の看護実践(急性期～周術期) ①心臓カテーテル検査時の看護の実際 ②心電図モニター管理の実際		○		長谷川杏子			
8	7.向老期に発症した虚血性心疾患の対象と家族の看護(急性期～周術期)	○			井上亜希子			
9	7.向老期に発症した虚血性心疾患の対象と家族の看護実践 ①バイパス術後の気管内挿管中の気管内吸引 ②気管内挿管患者の口腔ケア		○		長谷川杏子			
10	7.向老期に発症した虚血性心疾患の対象と家族の看護実践 ③術後当日、ドレーン管理の場面		○					
11	7.向老期に発症した虚血性心疾患の対象と家族の看護実践 ④術後日3目、全身観察の場面		○					
12	7.向老期に発症した虚血性心疾患の対象と家族の看護実践 ⑤術後5日目、基礎疾患が影響する治癒過程		○					
13	8.青年期の交通外傷で健康危機(外傷)にある対象と家族の看護実践 ①術後2日目、創部保護の場面		○					
14	9.青年期の交通外傷で健康危機(外傷)にある対象と家族の看護実践 ②術後3日目、呼吸困難を訴える場面		○					
15	事例の看護実践の発表			○				※演習では白衣を準備
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。							